

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	出張所管理運営事業（美杉総合支所）	高齢化率が非常に高い地域のため、諸手続や生活に係る様々な問合せが多く、地域に密着した対応が求められています。 また、平成29年度から出張所長に行政経験豊かな再任用職員を配置し、より市民に寄り添い市民との対話を大切に積極的に地域に飛び込んでいくことで窓口業務はもとより、地域コミュニティ活動の支援にも取り組んでいきます。	市民サービスの窓口及び地域コミュニティの形成に取り組めます	出張所の窓口証明・収納・相談及び地域の拠点施設として心豊かな地域コミュニティの形成に取り組めます。	90%	90%	戸籍・住民基本台帳等の交付事務、市税等の収納、各種受付相談業務を行い、市民生活の利便性を向上させる。	来庁者、利用者の満足を得ることが出来ました。 また、地域の各種団体と連携を密にすることにより地域の実情に応じた出張所業務を遂行することが出来ました。	4	出張所の窓口には、日々の窓口業務だけではなく、市行政に限らず様々な地域の課題や悩みなどの相談があります。住民の皆さんから一番身近な行政窓口として、真に地域住民から信頼されるよう努めました。	現状維持	平成29年度から、長年の行政経験を生かした再任用職員が出張所長として配置されました。過疎高齢化が進む美杉地域にあって、出張所の果たす役割は、単に申請書類を受け付け交付するだけではなく、常に地域に寄り添い地域の課題を解決する最前線の組織であると考えます。 これからも住民の皆さんから一番身近な行政窓口として、真に地域住民から信頼される必要とされる出張所であるよう努めます。
美杉・地域振興課	会館、市民センター管理運営事業（美杉総合支所）	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務を行い、市民が利用しやすい運営を行います。	コミュニティ施設維持管理	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理や市民が利用しやすい貸館業務が行われているか。	90%	90%	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務を適正に行います。	コミュニティ施設（14施設内2施設は指定管理者）の維持管理及び貸館業務が適正に行われました。	4	施設の維持管理は適正に行われており、コミュニティ拠点として利用されています。 14施設の延べ利用者数44,416人	現状維持	施設の適切な維持管理に努めます。

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	地域かがやきプログラム事業（美杉総合支所）	<p>多様な主体と連携した集落機能の再生については、高齢者の豊かな経験や知識を活用するとともに、地域団体、NPO等とも連携しながら、地域コミュニティやその活動のあり方等を検討し、人と人とのつながりを大切にしながら地域コミュニティの形成をめざします。</p> <p>暮らしの安全・安心づくりについては、地域住民の健康づくり支援や高齢過疎地域における医療体制の確立をめざし、地域の実情に合った利用しやすい公共交通システムの整備に向けた取り組みを進めます。</p> <p>森林を活かしたヘルスツーリズムの推進については、豊かな森林の恵みを活かした森林セラピーロードの整備や利用促進のためのPR活動を行う等、観光商品としての価値を高めることにより、ヘルスツーリズムを推進し、観光交流の拡大に取り組めます。</p> <p>豊かな自然環境の中での移住については、田舎暮らしを応援する各種制度の利用を促進するとともに、空き家情報バンクへの登録者を増やす工夫を行うなど、更なる定住・二地域居住に向けた取り組みを推進します。</p> <p>住民との連携による歴史・文化の保全と活用については、「歴史の道百選」にも選ばれた伊勢本街道の家並みの保全・活用や有形・無形文化財の保護と史跡の管理、歴史・文化の伝承活動等を進め、住民と共に磨いてきた伊勢本街道の魅力を活かし、地域における観光資源としてのブランドの確立をめざします。</p>	実施事業数	地域資源の有効な活用による地域づくりをめざし、高齢過疎地域と暮らしのための条件等課題解決を図り、地域の活性化と振興を推進するため、上記指標を設定します。	6事業	6事業		昨年同様地域の活性化につながるよう地域づくり事業の進捗ができた。	4	<p>課題克服が必要な事業も一部あるが、全体として本年度は概ね予定通り事業が進捗しました。</p> <p>地域の活性化のための具体的な取り組みなど課題解決を含め、地域と一体となった事業実施が必要です。</p>	拡充・充実	<p>地域主体の地域づくりの初動支援は平成25年度ですべての地域で完了したが、地域における事業は継続しており、地域との協働による事業の進捗を図り、地域資源を活用した地域づくりを進めていきます。</p> <p>また、まつり事業については地域主体の事業であり、地域コミュニティ形成のための促進方策であり事業継続による地域の活性化を推進していきます。</p>
美杉・地域振興課	地域情報発信事業（美杉総合支所）	<p>地域振興に係る活動に対し、情報発信を行うなど支援等を行う。</p> <p>地域住民からの地域振興を始め行政全般にわたる相談等に応じ、総合支所及び本庁各部課等と調整を行う。</p>	地域だより12回発行	地域情報発信事業については、地域振興事業であり、指標設定が困難であるため、美杉だよりの発行回数を数値目標に設定します。	12回	12回	美杉だより月1回発行 美杉全戸配布 (年5回カラー版発行)	12回発行を行い目標達成できました。	4	<p>地域情報の提供、発信について美杉だよりを月1回発行し全戸配布を行った。</p> <p>地域に密着した情報の提供を図り、親しみやすい紙面作りに努めました。</p>	現状維持	<p>地域振興に係る活動に対し、情報提供を行うなどの支援等を行うことができた。</p>

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	過疎対策事業	<p>過疎地域自立促進特別措置法に基づき過疎地域として指定されている美杉地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために、住民ニーズを踏まえた地域の自立促進のための指針となる津市過疎地域自立促進計画を策定することを目的とする。</p> <p>また、過疎対策事業に係る情報収集や計画の進行管理を行います。</p> <p>（※平成27年度より組織改編に伴い、これまで地域審議会事業に含まれていたもののうち美杉総合支所地域振興課が所管するものについて新たに過疎対策事業として創設。）</p>	過疎対策事業の情報収集及び計画の進行管理	平成27年度において、平成28年度から平成32年度を計画期間とする、津市過疎地域自立促進計画を策定したため、今後は過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行います。			過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行います。	過疎対策事業に関連した情報収集や当計画に基づく進行管理を行った。	4	過疎対策に係る先進事例や国、県の動向等に関する情報収集、計画の進行管理等を行いました。	現状維持	地域の自立促進に資するため、今後この計画に係る進行管理や過疎対策事業に係る情報収集等に取り組んでいきます。
美杉・地域振興課	地域活性化事業（美杉総合支所）	<p>少子化、高齢化が特に進んでいる美杉地域の活性化を図るため、多様な歴史、文化、恵まれた自然環境など美杉の魅力を総動員し、交流人口及び定住人口の増加を図る施策を展開する。</p>	域内移動用電動アシスト付き自転車利用者数及び移住・二地域居住者数	国から個々の事業に対するKPIの設定が求められており、各事業に対し事業指標を設定、それぞれの目標達成にむけた事業の取組を行う。	右記数値目標のとおり	右記数値目標のとおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>電動アシスト付き自転車利用者数 1,000人</li> <li>移住・二地域居住者3人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電動アシスト付き自転車利用者数 1,134人</li> <li>移住・二地域居住者13人（空き家リノベーション件数 5件）</li> </ul>	4	<p>定住・二地域居住を条件に美杉地域移住促進のための空き家リノベーション補助金（3分の1・上限100万円）の利用者は、5件であり、移住及び二地域居住者は13人であった。</p> <p>イベントの開催や電動アシスト付き自転車の導入により、観光客の受け入れ態勢の充実が図れ、地域のPRと相まって交流人口の増大に資することができた。</p> <p>また、地域のPRと空き家リノベーション補助事業により、移住や二地域居住者が増加した。</p>	拡充・充実	<p>引き続き美杉地域の積極的なPRや地域での受け入れ態勢の充実に努め、交流人口及び定住人口の増加を図っていきます。電動アシスト付き自転車のレンタル事業は、公共交通機関の弱い地域に合って有効な移動手段であることから、安全に運営できるように努めていきます。</p> <p>また、空き家リノベーション補助事業により、移住や二地域居住者の増加を図っていきます。</p>
美杉・地域振興課	その他運動施設管理運営事業（美杉総合支所）	<p>市民がスポーツを通して、緑に囲まれた自然とも触れ合うことにより、心も癒してもらえる場・コミュニティづくりなどを目的とした交流の場として活用していきます。また、当施設は市外の方の利用が多いこともあり、さらなる集客を得るため施設の整備清掃、安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。</p>	施設利用者数	コミュニティづくりなどを目的とした交流の場として利用されているか	300回	269回		日常点検による施設修繕及び施設利用者からの苦情に対応することにより、適切な維持管理は行われていると考えます。	4	施設管理に力を注ぎ、気持ちよくスポーツが出来る環境作りに努めました。	現状維持	適切な施設の維持管理を図るとともに、利用しやすい環境整備に努めていきます。

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	レークサイド君ケ野維持管理事業	県内外から美杉地域を訪れる方々にレークサイド君ケ野を利用いただくため、食事等について地域の特産物を利用し、お客様に楽しんでいただける「おもてなし」の方法で提供したい。また、近隣地域の方々にも会合や慶弔事等の利をいただくためのサービスを実施し地域に根差した施設として利用促進に努めます。	利用者数	利用者の増加が収支の改善を図る一つの目安となるため、利用者数を成果指標の判断基準とします。	17,000人	4,231人		レークサイド君ケ野職員退職による宿泊等事業の運営の一時中止による利用者の減	2	レークサイド君ケ野の運営については、臨時職員を中心に事業を進めるなか、臨時職員の退職による運営の一時中止による利用者の減、地域と連携した施設のあり方等の検討が十分にできなかった。	見直し	臨時職員の退職による運営の一時中止となり、募集を行うも応募者がなく、早急な職員の確保に努めるとともに、季節に応じた食事メニュープラン、周辺イベントを盛り込んだチラシ等PRの実施により新規利用者等の利用数拡大を図るため、森林セラピーウォーク、各松線を利用した宴会プラン等、多岐にわたるプランの提供など取り組みを充実させ、収支状況の改善を図っていく必要があります。
美杉・地域振興課	観光施設等維持管理事業（美杉総合支所）	県内外から美杉地域を訪れた来訪者が、スカイランドおおほら、その他観光施設を利用いただくことで、特産品の提供、大自然でのアウトドア体験、パターゴルフ体験、天体観測体験、自然歩道散策等を通じて、心と身体のリフレッシュを促し、当地域のファンとなり、リピーターとなっていただくことにより、交流人口の増加を図ります。	入込客数	入込客数の増加が観光客数誘致の一つの目安となるため、入込客数を成果指標の判断基準とします。	1,000,000人	186,551		入込客を増加させるため、イベント開催及び各種メディアにおけるPRを強化します。	3	各キャンプ場等の観光施設をインターネットによるPR及び、各種メディアでのPRを推進することにより、観光客誘致の一定の成果があったと思われる。今後も、各イベント開催においてPRを継続することにより、観光客誘致を図る必要性がある。	現状維持	各松線の全面開通、森林セラピー事業等により美杉地域への来訪者の増加が予想される中、各拠点施設整備環境の充実を図り、集客及びリピーターの確保に向けて、新たなPR方法の検討や効率的な施設運営の検討が必要と考えられます。
美杉・地域振興課	道の駅美杉維持管理事業（美杉総合支所）	利用者の方々に美杉地域の観光施設や森林セラピーの情報発信は基本であるが、プラスαとしての機能をもたせるため地域内の団体等の協力を受け、週末の参加型イベントを定期的で開催し、例年実施しているサンクスフェスタの内容も再度検証することにより施設内での滞在時間の増加による特産品等の販売促進につなげると共にリピーターとしての利用客の増進も図りたい。	利用者数	利用者の増加が収支の改善を図る一つの目安となるため、利用者数を成果指標の判断基準としました。	40,000人	30,178人		前年に比べて利用者数が減少しました。近年の傾向による消費力低下によると考えられます。	3	前年度より、集客が減少した結果となった。周辺観光を活用した周知が図れなかったことなどが原因と思われます。	現状維持	各松線利用者によるゴールデンウィーク無料送迎バスなどの企画により集客を図りました。引き続き、他の観光施設のPRと合わせて、HPでのPRを推進し、例年実施している道の駅美杉サンクスフェスタもさらに充実した内容となるよう再度検証することにより観光客誘致を図っていきます。

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・地域振興課	名松線利活用関係事業	全線復旧を契機にJR名松線の継続的な利用促進及び同路線を利活用した美杉地域の活性化につなげるため、関係団体及び関係部局と協力し、美杉地域や同路線の魅力を発信する事業を展開します。	いいところ発見事業	美杉地域の活性化のため、美杉地域の魅力や名松線の魅力発信事業を行った回数を指標としました。	6回	6回		目標どおり開催できました。	4	全線運行再開以降、名松線沿線ウォークの開催や東京・名古屋などの大都市圏を含む市内外でのPR、名松線利用者無料臨時バス運行等を通して名松線及び沿線地域の魅力を紹介を継続していき、名松線利活用促進ができました。 また、「名松線復旧2周年記念イベント」では、美杉の新名所「ミツマタ群生地」まで歩く「名松線ウォーク」を実施し、大変好評でした。さらに、市内小学生親子を対象とした宿題解決プランの実施や、久居農林高校生が考案した名松線弁当が一般販売開始されるなど、今後の名松線利活用のさらなる活性化に繋がる取組ができました。	拡充・充実	名松線を利用していた沿線地域へお越しいただくことが、沿線地域の活性化につながることから、新たな事業に取り組みながら引き続き積極的なPRに努めていきます。
美杉・地域振興課	地域インフラ維持事業（美杉総合支所）	地域要望等に基づく道路、河川、公園及び交通安全施設等の地域インフラの維持修繕について、単価契約による委託業務及び施設修繕等において即時対応を行います。	地域要望に対する迅速対応	地元地域住民の要望への迅速に対応を成果指標とします。			地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	地域の要望に関する維持管理等について、概ね対応できています。	3	地域から様々な要望に対し、現場と確認し迅速に対応しておりますが、緊急などから着手できていない事業もあります。また、地域性から冬期の雪氷対策に苦慮しているところです。	拡充・充実	地域からの要望に対し、迅速な対応が概ねできていていると考えていますが、緊急性などを検討しながらより多く対応ができるように努力していきます。
美杉・地域振興課	地域インフラ補修事業（美杉総合支所）	地域において即答・即応が求められる案件に、より一層迅速、的確かつ柔軟に地域に密着した対応を図るため、総合支所職員による公共施設等の簡易な補修、修繕及び地域への原材料の支給等を行った。	地域要望に対する迅速な対応	道路パトロールの強化、地元地域住民からの要望への迅速な対応を成果指標とします。			地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができた。	4	要望等があった場合に、早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができました。	拡充・充実	要望等があった場合に、早急に現場を確認し、迅速な対応をすることができました。今後より一層迅速な対応ができるようにしていきたいと考えます。

美杉総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美杉・市民福祉課	斎場業務管理運営事業（美杉総合支所）	公衆衛生、その他公共の福祉及び市民サービスの充実を図るため、津市火葬場（美杉八知火葬場・美杉伊勢地火葬場）の適正な管理運営を行います。	火葬場の運営及び維持管理	火葬場の運営・維持管理が自治会への委託から、市直営（火葬業は委託）に変更。業務委託業者に、マニュアルにより遺族に対し丁寧な対応を行うよう指導するとともに、適切な維持管理を行います。			火葬業務に関して、遺族に納得いただけるよう、霊柩車の受入れから、火葬・収骨及びお見送りまで丁寧な対応を行い、維持管理においても地域のニーズに対応するよう効率的な管理運営を目指します。	地域のニーズに対応し、効率的な管理運営を図ることが出来ました。	4	地域のニーズに対応し、効率的な管理運営を図ることが出来ました。	現状維持	火葬業務に関して、遺族に納得いただけるよう、霊柩車の受入れから火葬、収骨及びお見送りまで丁寧な対応を行い、維持管理においても地域のニーズに対応するよう効率的な管理運営を行います。また、本年度火葬業委託について入札を行い、2021年3月末までの3年の長期契約を締結しています。
美杉・市民福祉課	地域ケア推進事業（美杉総合支所）	美杉高齢者生活福祉センターは、本市に住所を有する高齢者に対し、介護支援機能、居住機能及び交流相談機能を総合的に提供することにより、高齢者福祉の増進を目的としています。	施設利用者数	市民生活への寄与の度合いと市民の関心の状況を利用者人数の推移を見ながら判断しつつ、今後の管理運営への指標とします。	5,000人	4,834人	高齢者に対して、温かく思いやりの心を持って共に生きる地域社会を推進し、安心して生活できる施設を目指します。	生活支援ハウスの入居者が4月～10月までは5名の入居。11月12月は4名、平成30年1月は3名、2月は4名、3月は6名と推移していることが昨年度と比較して減少した要因。その他の利用者はここ3年ほぼ横ばい傾向と分析できます。	3	生活支援ハウスについては、恒常的に利用があり、事業の必要性は継続しています。平成29年度において高齢者生活福祉センターデイサービス棟の空調設備を改修し、利用環境を改善するとともに、教育娯楽室等を改修することで地域福祉の拠点施設としての機能が拡充し、施設の利便性の向上が図られた。しかしながら施設開設から25年以上が経過しており、老朽化による施設維持のための修繕費用が増高傾向になっている。	現状維持	地域の高齢者に対する福祉サービスの拠点として、併設されている居宅介護支援事業所（津社協美杉支部）とともに事業を継続します。また、天井落下予防のため使用禁止としていた教育娯楽室もH29年度に改修したことから、改めてH30年度5月から空きスペースの有効活用を見直し、地域福祉の拠点施設となるよう施設の利便性の向上に努めます。併設する津市家庭医療クリニックがあり、今後も利用者の増加が見込まれ施設維持に努めます。